

2024年度 業績優秀者返還免除申請書

西暦 2025年 〇月 〇日

独立行政法人日本学生支援機構理事長殿

私は以下について承知したうえで、特に優れた業績による返還免除を申請します。なお、本申請書記載内容に相違はありません。

- 日本学生支援機構が、免除認定者の職業や業績等を含めた特に優れた業績による返還免除に関する調査を行うときには、その調査への協力を求められることを承知しています。
(2023年度以降に博士(後期)課程及び博士医・歯・薬・獣医学課程において第一種奨学生、国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)が実施する「科学技術イノベーション創出に創設事業」又は「次世代研究者挑戦的研究プログラム(SPRING)」又は「国家戦略分野の若手課程学生の育成事業(BOOST)次世代AI人材育成プログラム(博士後期課程学生支援)」の支援免除が取り消されることを承知しています。

旧姓があり、旧姓で表記されている業績がある場合は、「機構(奨学)太郎」のように、旧姓を()書きにする。

フリガナ キコウ タロウ
氏名 機構 太郎

大学院名 東京藝術大学 大学院
課程 修士(博士前期)課程
研究科名・専攻名 ○○研究科 ○○専攻
学籍番号 ○○○○○○ (sはつけない)
奨学生番号 6○○○06○○○○○○ 生年月日 西暦19○○年○月○日

□ 上記で選択した課程において、内定者として認定されている

大学院にお 専攻分野に関わらず必ず記

概要
博士課程の学生は、ガイドラインを満たしている業績の資料を最低1点必ず提出。返還免除内定者、「音楽、演劇、美術その他の発表会における成績」又は「スポーツの競技会における成績」を業績とする者を除き、「学位論文その他の研究論文」の提出は必須。

業績評価書と業績資料に記入した資料番号と一致させる。業績評価書と業績資料は、重要度の高い業績から順番に記入するため、必ずしも左記業績の種類番号とは一致しない。
資料番号の記入例は、重要度の高い順に、以下の5つの業績を申請するケースです。
博士論文及び研究作品【第5条(1)イ】
コンペで入賞【第5条(4)イ】
個展を開催【第5条(4)ロ】
授業科目の成績【第5条(3)ロ】
ティーチングアシスタント【第5条(6)イ】

Table with 4 columns: 業績の種類, 資料番号, 機構に提出, and 概要. Rows include 学位論文, 研究論文, 学会での発表, and 日本学術振興会の特別研究員に採用...

※論文及び学会での発表により機構以外の給付奨学金や外部資金を獲得した場合は、「研究論文」又は「学会での発表」の欄に記入し、「受賞・表彰」欄に○をつけください。

業績の種類		資料番号	機構に提出
2	大学院設置基準第16条に定める特定の課題についての研究成果	※修士課程の学生のみ対象 必要項目：①申請者名 ②研究の成果 例：①機構太郎 ②修士制作「(タイトル)」 ○○財団の「○○賞」を受賞(専攻で1名選ばれる優秀作品として受賞)	本学選考基準第5条(2)の業績に該当 申請要領4ページを参照すること
3	大学院設置基準第16条の2に定める試験及び審査の結果	本学で該当する業績がないため記入不可 欄は削除せずにこのまま残しておくこと(行間を狭めることは可)	
4	(専攻分野に関連した)著書、データベースその他の著作物(1及び2に掲げるものを除く)	必要項目：①申請者名 ②著書、データベース等のタイトル ③著書、データベース等の概要 ④発行年 例：①機構太郎 ②「(タイトル)」③資料参照 ④2025年	本学選考基準第5条(5)の業績に該当 申請要領5、6ページを参照すること
5	(専攻分野に関連した)発明	必要項目：①申請者名(発明(考案)者名) ②特許等の出願日あるいは登録日 ③特許等の出願時あるいは登録時に付与される番号 例：①機構太郎 ②登録日 2025年X月X日 ③特許番号 XXXXXXX	本学選考基準第5条(7)の業績に該当 申請要領6ページを参照すること
6	(専攻分野に関連した)授業科目の成績	必要項目：①申請者名 ②成績の詳細 ③年度 例：①機構太郎 ②成績の詳細 ③2023年～2025年	本学選考基準第5条(3)の業績に該当 申請要領4,5ページを参照すること
		※成績優秀者に受給される学内奨学金「●●賞」を受賞(資料は採用通知および選考基準など)	
7	(専攻分野に関連した)研究又は教育に係る補助業務の実績	必要項目：①申請者名 ②研究プロジェクト名あるいは授業名 ③年度 例：①機構太郎 ②「○○○論」でティーチング・アシスタントを担当。③2024年	5 本学選考基準第5条(6)の業績に該当 申請要領6ページを参照すること
		※複数の期間にわたって同様の補助業務を行っているが、複数の期間でも一期間でもひとつの業績として評価される場合は、一期間の業績のみにしてください。複数の期間の記載及び資料の添付は不要です。 例：①機構太郎 ②奨学大学○○研究室の「(プロジェクト名)」においてリサーチ・アシスタントを担当。 ③2024年～2025年	
8	(専攻分野に関連した)音楽、演劇、美術その他芸術の発表会における成績	必要項目：①申請者名 ②発表会名 ③年度 ④成績(●●人中●位)など 例：①機構太郎 ②第N回○○コンテスト ③2024年 ④最優秀賞	2 3 本学選考基準第5条(4)の業績に該当 申請要領5ページを参照すること
		※発表会等の内容、レベル(国際的・国内的等)、対象等について記載(資料は賞状、新聞記事、または第三者の評価など) 必要項目：①申請者名 ②年度 ③競争的資金獲得情報 例：①機構太郎 ②2024年 ③●●財団奨学金採用 ※作品等が認められ、民間財団が公募している奨学金を獲得した(資料は採用通知および選考基準など)	
9	(専攻分野に関連した)スポーツの競技会における成績	本学で該当する業績がないため記入不可 欄は削除せずにこのまま残しておくこと(行間を狭めることは可)	
10	(専攻分野に関連した)ボランティア活動その他の社会貢献活動の実績(公益の増進に寄与した研究業績)	必要項目：①申請者名 ②イベント等の名称 ③年度 例：①機構太郎 ②「夏休みプログラミング教室」 ③2024年 例：①機構太郎 ②「○○市XX事業ボランティア」 事業で使用する利用者登録システムの構築に対し助言を行った。 ③2025年	本学選考基準第5条(8)の業績に該当。 申請要領6ページを参照すること。